

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 12 月 31 日作成)

小委員会名	煙突構造小委員会		主 査 名：山田大彦 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会		委員長名：和田 章
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的：「煙突構造設計指針」の執筆刊行</li> <li>・2004 年度：資料調査と分析</li> <li>・2005 年度：資料調査と分析、解析と執筆</li> <li>・2006 年度：執筆、査読と刊行準備</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 無		
	山田大彦(東北大)、田村幸雄(東京工芸大)、飯田泰彦(JFE)、伊藤隆文(東電設計)、大西宏治(大林)、小山隆(鹿島)、杉山真人(三菱重工)、瀬谷均(竹中)、辰巳佳裕(清水)、中井庸夫(鹿島)、藤山淳司(大成)、貫井泰(東京電力)、長谷川順行(三菱重工)、宮村正光(鹿島)、渡邊泰志(清水)		
設置 WG (WG 名：目的)	地震荷重WG (8 名) 煙突構造の地震荷重に関する諸規定の調査、道解に基づく荷重評価並びに提案		
2006 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 昨年度煙突構造の地震荷重を定める告示について、国交省のパブリックコメントにより、改善を求め、認められ、改定の段階にあると聞いている。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 予備調査・研究・提案事項の調整・取り纏めは昨年度までに完了 2. 3 年目の最終年度は、執筆・全体調整・当小委員会内査読にあてられた 3. 構造委員会査読への原稿引き渡しは、当初の目標より約 6 ヶ月遅れたが、短期集中活動の目標に対し全委員が努力
委員会活動の問題点・課題	1. 当初の予定を超えた範囲で刊行を目指した 2. 構造委員会への査読原稿提出の遅れ、刊行時期の遅れを招いた 3. 2007 年秋に予定の刊行・講習会の実施を成功裏に行い、責任を果たす